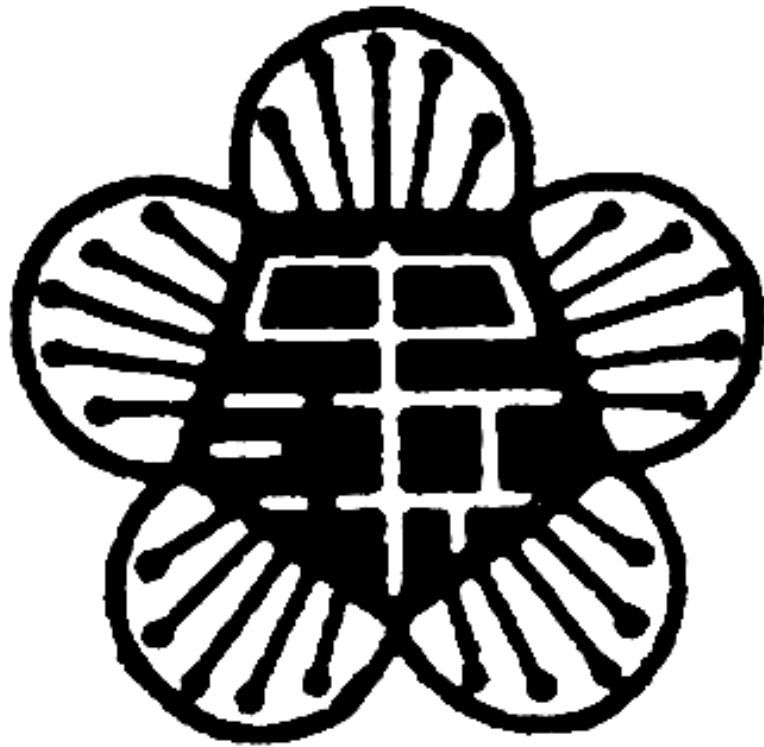


令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立中浜小学校

令和8年4月

大阪市立中浜小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の在籍児童は173名で、1年31名、2年27名、3年28名、4年29名、5年34名、6年24名という小規模な学校である。児童一人一人が繋がりを持ち、学校生活を通してたてわり班活動や異学年交流を行っている。高学年はリーダーシップや責任感を示し、中・低学年はその姿を見て取り組むことで児童同士の学び合いが行われている。

令和7年度大阪市小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対して、最も肯定的な回答をした児童の割合は97.5%（校内調査:98.8%）だった。ほぼ全ての学年で最も肯定的な回答をしている。しかし、スマートフォンやインターネットを通じたゲームでのトラブルが増加している。情報モラル教育を推進すると共に、保護者にインターネットの危険性やルールの構築などの啓発が必要である。

学習面では、研究主題を「みんなが楽しい授業づくりを目指して」と設定し、研究を重ねていく。子ども達が主体的・対話的で深い学びを通して、自ら学び、深める活動を推進していく。

教職員の時間外勤務の解消について、減少傾向は見られ、月時間外勤務時間が45時間以内の教職員は100%という結果となっている。今後も職場環境の充実を図り、全ての教職員が持続可能な業務に取り組む必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ① パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用するときのルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ② 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ③ 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査の「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ④ 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。【R7:80%】
- ⑤ 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査の「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ⑥ 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ⑦ 「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に掲げる、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS 等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用するときのルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。
- ② 令和8年度の大阪市小学校学力経年調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ③ 令和8年度の大阪市小学校学力経年調査の「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- ④ 令和8年度の大阪市小学校学力経年調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ⑤ 令和8年度の大阪市小学校学力経年調査の「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ⑥ 令和8年度の大阪市小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- ⑦ 「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に掲げる、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

| |
|--|
| |
|--|

大阪府立中浜小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成 状況 |
|--|----------|
| <p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>① パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等(インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用(パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む))を利用するときのルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。</p> <p>② 令和8年度の大阪府小学校学力経年調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗 状況 |
|---|----------|
| <p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>情報モラル教育を推進し、保護者とともにスマートフォン、インターネット利用のルールを家庭で決めて、守ることができるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>情報モラルに関する指導を各学年で学期に1回以上実施する。</p> <p>家庭でメディア利用のルールを話し合う機会として「メディア確認カード(仮)」を配付する。「メディアについて考える日」を年2回設定し児童・保護者向けにアンケートを実施する。</p> | |
| <p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>いじめやいのちに関する学習を通じて、自他の大切さを認め、互いを尊重できる児童を育む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>いじめについて考える日 いのちについて考える日を学期に1回設定し、関連する学習を実施する。いじめアンケートを年3回実施し、児童への聞き取りを1週間以内に行い、気になる案件に素速く対応できるようにする。</p> | |
| <p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>たてわり班活動や異学年交流を通じて、多様な他者と関わる経験を積み、自他を認め合う関係づくりを進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>たてわり班活動や異学年交流をそれぞれ学期に1回以上設定し、多くの児童と交流する機会を設ける。</p> | |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

改善点

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度に向けての反省点

大阪市中浜小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成 状況 |
|---|----------|
| <p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>④ 令和8年度の大阪市小学校学力経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。【R7:80%】</p> <p>⑤ 令和8年度の大阪市小学校学力経年調査の「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗 状況 |
|--|----------|
| <p>取組内容⑤【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学習活動において、主体的・対話的で深い学びの学習を推進し、全ての教員の指導力の向上を推進し、授業研究を中心とした校内研修を充実させる。</p> <p>指標</p> <p>本校の研究主題を「みんなが楽しい授業づくりを目指して」に据え、全ての教科で推進し、全ての教員が1回以上、本校の研究を基にした研究授業・公開授業を実施する。</p> | |
| <p>取組内容⑥【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>児童が運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツに取り組む機会を充実させ、主体的に取り組むことができるようにする。</p> <p>指標</p> <p>年間2つ以上、児童が運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツに取り組むことができるような場を設定する。また、本校の課題である「敏捷性」の向上をねらいとする取組を実施する。</p> | |
| <p>取組内容⑧【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>健康教育や食育を充実させ、児童自身が健康に関心を持つことができるようにする。</p> <p>指標</p> <p>全ての学級で健康教育や食育を実施する。その際、健康教育は健康増進(基本的な生活習慣を含む)の指導や取組、食育はバランスの取れた食事に関する指導を各学年、学期に1回実施する。</p> | |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

改善点

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度に向けての反省点

大阪市立中浜小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>⑥ 令和8年度の大阪市小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>⑦ 「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に掲げる、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下にする。</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容⑨【基本的な方向6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 児童がデジタルリテラシーを身に付け、ICT を安全に、かつ効果的に使いこなすことができるよう取り組む。</p> <p>指標 学校生活アンケートにおける「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」の問いに対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> | |
| <p>取組内容⑩【基本的な方向6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 家庭と連携し、教職員と児童、保護者の共通理解のもと一貫したデジタルリテラシー教育を行う。</p> <p>指標 学校だよりや学級懇談会、個人懇談といった機会を利用し保護者への啓発に努める。</p> | |
| <p>取組内容⑪【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教育的効果を検討した上でより合理的に業務の精選・見直しを行い、教育課程を編成する。</p> <p>指標 教員の意識調査における「今年度、教育課程の編成において、教員の負担軽減を感じられたものがあった。」の問いに対して、肯定的に回答する教員の割合を70%以上にする。</p> | |
| <p>取組内容⑫【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 各教科の特性や指導内容に応じ、効果的に ICT を活用する。また、ICT の校務利用等により業務改善に取り組む。</p> <p>指標 教員の意識調査における「今年度、ICT の活用によって、学習指導の効率化、業務改善等を感じられたものがあった。」の問いに対して、肯定的に回答する教員の割合を70%以上にする。</p> | |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

改善点

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度に向けての反省点